



令和3年度の2学期は、10月1日の一斉登園からスタートしました。私たちは、夏休みから引き続き登園を自粛していた子ども達が安心して通常の園生活に戻れるよう、ひとつ一つの活動をより丁寧に行ってまいりました。そんな私たちの思いを察したかのように、多くの子ども達が涙で登園する友だちの手を引いてくれたり、靴箱まで迎えに来てくれたり、また、通用門で待ち合わせて笑顔で生活スペースに入っていく等、仲間を思いやる姿を見せてくれました。その光景に、園で一緒に過ごすことができなくても、子ども同士の心は確実に繋がっていることを実感することができ、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

こうした日々を経て、2週間後の12日(火)～15日(金)には、「スポーツフェスタ2021」を開催。13日、14日は熊本の最高気温が全国1を記録する等、10月とは思えない厳しい残暑となりましたが、子ども達は慣れ親しんだ園内で友だちと思いきり体を動かし、運動の楽しさを感じることができました。その様子は、プロセスも含めた「動画」という形で保護者の皆様にご覧いただきました。子ども達の取り組みをできるだけリアルタイムで伝えたいと試行錯誤を重ねる私たちの思いに、保護者会有志の方々がご協力くださり、何とか無事に配信を終えることができたことに有難く感謝しております。パートナーである保護者の皆様に「安全」に対するご理解をいただきながら、新しいことに挑戦できましたことは、常により良い環境作りを目指す私たちにとって次に繋がる一歩となりました。

そして迎えた12月17日。保護者の皆様を園にお迎えして開催した「音楽会」では、大好きなお家の方の前で楽しそうに日ごろの取り組みを発表していた子ども達。先生をよく見て友だちと力を合わせる姿に、「がんばるときはがんばる」の気持ちが感じられ、胸が熱くなりました。ようやく同じ場で皆様と感動を共有できたことを嬉しく思うと同時に、これからも子ども達の笑顔を守っていくことが私たちの責務であるとの思いを強くしたところです。

いよいよ今年も残り少なくなりました。現状は落ち着いているとはいえ、油断ができない状況です。明日からの冬休みも“命を守るための習慣”について防犯対策も含め、それぞれのご家庭で子ども達と話しをしていただき、楽しい年末年始をお過ごしください。来る3学期も皆様と笑顔でお会いできますことを楽しみにしております。

今年一年の皆様のご理解とご協力に改めて感謝申し上げますとともに、どうぞよいお年をお迎えください。

手をつなぐと・・・心もつながるね



“なぜそうするのか”が分かって行動

去る11月12日(金)の満3歳ちゅうりっぷ組『親子動物園遠足』の前日、「安全」の再確認のために子ども達の前で「ロールプレイ」を行いました。その様子を真剣に観ていた女兒から、迷子や連れ去り等の危険から自分の身を守る方法として、「手をつなぐ」という言葉が聞かれました。翌日の遠足が楽しい思い出となるよう、みんなで手をつなぐことを共通理解し遠足当日を迎えました。その結果は・・・動物園入場から園内見学、退園までの間、どの子もしっかりと保護者の方と手をつないでいる姿が見られ、“なぜ手をつなぐのか”が分かって行動していることが伺えました。また、前日、帰宅した子ども達が、安全の約束事として手をつなぐことを家庭に伝えていたことも判明し、話をよく聴き伝えることができるまでに成長したことを嬉しく思った次第です。

これからも大切なことは、何度でも分かりやすく丁寧に伝えることの必要性を改めて職員間で再確認した出来事でした。



《編集後記》手洗い、マスク、密を避ける、換気といった感染症対策が“当たり前の日常”となって久しい訳ですが、加えて「本日公表の感染者数」を確認することが日課となった方も多いのではないのでしょうか。23日まで、熊本県の新規感染者数「0」の日が続き、一年前とはやや違った気持ちで年末年始を迎えることが出来そうです。これは、データ(数値)は勿論ですが、未知なるものが少しずつ解明されてきたことで、先の見えない不安が和らいできたからではないのでしょうか。改めて医療従事者の皆様に感謝いたします。そして、私たちが今できることは、一つひとつの生活習慣をこれまで同様丁寧にコツコツと粘り強くやり続けることしかないと思っています。「自分の命は自分で守りましょう。」子ども達に日々伝えていることを再確認の意味で皆様と共有すべく、今年のラストメッセージとさせていただきます。

(子育て相談：北村)